

平成31年度事業実績及び決算報告

平成31年度 長岡総合学園 事業実績報告

I 悠久山栄養調理専門学校

以下の観点で、平成31年度の実績並びに令和2年度の取組をあげる。

【学生の確保状況から】.()は平成30年度実績

○オープンスクール 19回実施 (19回)

のべ参加人数 150名(212名) 昨年度比較指数 71

入学可能者実数 76名(119名) 昨年度比較指数 64

うち51名入学(54名) 昨年度比較指数 94

全体の歩留まり 67%(45%)

入学率 栄養士科 19/30 (15/41) 歩留まり63%(37%)

専攻科 13/24 (26/44) 歩留まり54%(59%)

調理師科 19/22 (13/34) 歩留まり86%(38%)

○オープンスクールの参加者数が減少したが、歩留まりが上昇した。



オープンスクール参加者を増やすことが重要

高校の若い先生方には本校の認知度が低いので、積極的なアプローチを取り入れること

例 出前授業 業者を経由しない出前サービス, オープンスクールへの高校教諭参加の呼びかけ
募集(広報)活動全体の一体化

ホームページの一新 HPとスクールガイドの連動 (コロナであっても)学生への伝達事項をアップ

本校のスタンス(=学生を大切にすること)を前面に打ち出す

SNS 葉書 業者ガイダンス 高校訪問 等 展開は継続

指定校通知の時期を前倒し 複数回の高校訪問を設定する

【地域等にかかれた取組】

○保護者向け食事会 13年目 専攻科 栄養士科それぞれで開催 好評である

○栖吉地区 こども対象料理教室 5年目 35名参加 (35名)

○中学校からの依頼 上級学校訪問 13件 (19件) 長岡市内中心



コロナ対策で開催を見合わせ中となっている

【各種の資格獲得への支援】

○家庭料理技能検定(香川学園主催)

第1回3級 成績優秀団体賞 受賞

個人優秀賞 なし

○介護職員初任者研修(医療法人 至誠会 協力)

介護ヘルパ3級 取得者 7名(14名)

○管理栄養士 試験対策講座開設 卒業生 4名合格(6名)



コロナ対策で開催を見合わせ中となっている

【その他】

○調理技術コンクール(同上主催)関東甲信越大会に5名出場(4名)

○技能五輪全国大会 日本料理部門 1名出場

○就職活動への支援

【学校運営の観点から】

昨年度あげた課題は以下である →はその課題についての現段階での評価

課題

- ① 組織的な学校運営 職員の創意を生かした戦略と総意に基づいたその展開
→井上としては今のところ60点の評価
特に教育課程編成の変更で教員は大変努力したと思う

- ② 学生の実態に応じた指導
中途退学者や科の転向者を可能な限り避ける
→中退者は5名(4名+1名) 転科者は2名 卒業学年は全員が卒業式で卒業ができた

- ③ 授業の質的な向上
業務のスリム化
→井上としてはこれは55点 教務部分は65点 事務部門が45点

外部講師のもつ授業を削減すること 常勤職員の授業力の向上
→前半については今のところ70点 複数年度にわたって推進したい 後半部分ともからむ
後半については評価する規準が未完成 ボトムアップで推進する

- ④ 勤務時間の厳正な管理
→この評価は40点
職員一人一人が自分のキャリアについて見通しをもてるような仕組づくり
→この評価は55点 キャリア面談を継続する
適切な ICT 活用
→教務部分について昨年度の評価は30点 現在は45点 まだまだ改善の余地が大きい
適切な教務関係ソフトを導入することができれば望ましいが。

職員研修 授業を構成するための基礎的な事項を職員に獲得させる取組
→昨年度は、4名の職員が希望研修を実施(県内1県外4) コロナで現在は無理であるが
どのように自己研修と校内研修をするのかを OJT で示していく

- ① ～④は引き続き課題であり取り組んでゆく。

II 長岡美容専門学校

平成 31 年度の実績並びに令和 2 年度の取り組み

【学生の確保状況】

○オープンスクール

年度	平成 30 年度募集 平成 31 年入学 (現 2 年生)	平成 31 年度募集 令和 2 年入学 (現 1 年生)	令和 2 年度募集 令和 3 年入学
回数	25 回	19 回	19 回(1 回中止)
参加者数	100 人	66 人	1 回実施・5 名
入学対象者数	43 人	27 人	5 名
受験者数	21 人(1 名辞退)	14 名(1 名辞退)	
出願率	48.8%	51.8%	

- 入学対象者(主に高校 3 年生)の参加は、7 月下旬をピークに、9 月からはほぼ参加がなく、いかに高校 1、2 年生の参加者に対して次年度も、またリピーターとして参加してくれるかが重要となっている。
- 3 年生になって来校してくれている生徒の、ほぼ半数は出願に繋げることができていることから、高校 1、2 年生の参加者数をいかに増やせるかが課題。

課 題

- ① 高校 1、2 年生の参加者増 (目標:2 年生の参加者 50 人以上)
- ② 夏休みに参加した 1、2 年生との接点を春まで持ち続ける
- ③ 高校 3 年生の出願率を上げる

取組み

- ① 高校 1、2 年生の参加者を増やすための取組み
高校では 1、2 年生に、進路活動として夏休みにオープンキャンパスへ数校参加することを課題としていることも多く、そこを狙い7月下旬から8月上旬に1、2年生へDMを発送して参加を促す。
DMを持参することで限定プレゼント等は有効と考える。
- ② 夏休みに参加した1、2年生と春まで接点を持ち続けるために、次の2つの取組みを実施する。
まず、1度来校してくれた高校生に、また参加したいと感じてもらえるよう学校の魅力を十分に周知させる。
併せて、定期的なDM、または2年次参加者は入試制度で有利に働く特典の検討。
- ③ 高校3年生の出願率を上げるための取組みとして、
オープンキャンパスの運営(体験実習、学校説明、個別相談等)についての見直し、校内の案内順序、施設設備等の改修を含め、在校生の協力のもと具体的な将来像と2年間の学校生活を伝える。
また、①②については、高校内ガイダンスでの接点も、参加者増や接点継続に繋げることのできる募集活動として参加していきたい。
また目標達成のため①～③の取組みと、あわせて高校訪問を定期的実施する。

【 学校認知度 】

課 題

ライバル校でもある地元「クリアヘアモード専門学校」に負けない認知度を高める努力。

取組み

- ① 今年度はデジタル広告(SNS 広告)に加え、新たに看板等の設置を計画し、認知度を高める。
 - ・中越高校前、E-PLAZA、柏崎総合高校前に看板の設置
 - ・越後交通のバス 10 台に車内ポスターの掲示
- ② 長岡市からの依頼等、地域のイベントへの積極的に参加し、知名度高める。

Ⅲ 会議開催状況

平成 31 年度開催された理事会・評議員会は下記の通り

理事会・評議員会

開催期日	開催場所	協議事項
令和元年 5 月 30 日 理 事 会 評 議 員 会	悠久山栄養調理専門学校 401教室	1. 平成 30 年度事業実績及び決算について
令和 2 年 1 月 23 日 理 事 会 評 議 員 会	悠久山栄養調理専門学校 401教室	1. 寄附行為の変更について
令和 2 年 3 月 19 日 理 事 会 評 議 員 会	悠久山栄養調理専門学校 401教室	1. 令和 2 年度事業計画(案)及び予算(案)について 2. 学則変更について(悠久山栄養調理専門学校) 3. その他

IV 令和2年学生動向

1) 悠久山栄養調理専門学校

イ 栄養士科

【入試状況】

(人)

区分	平成30年度生		平成31年度生		令和2年度生	
	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数
A O 入 試	14	14	4	3	3	3
特 待 生 入 試	1	1	0	0	1	1
指 定 校 推 薦	5	5	7	7	8	8
推 薦 入 試	1	1	4	4	2	2
一 般 入 試	6	4	1	1	2	2
社会人一般入試	4	4	1	0	3	3
計	31	29	17	15	19	19
その他 備考		1 (前年度 原級留置)				

計 30

【入学及び休・退学状況】

令 2.4 現在(人)

区分	1 学年					2 学年					年度末在籍数
	始期	原級留置	休学	退学(転科)	終期	進級	復学	休学	退学(転科)	終期	
H30 年度	30	0	0	10(6)	20	25	0	0	0	25	45
H31 年度	15	0	0	2 (0)	13	20	0	0	1 (0)	19	32
R2 年度	19					13					

【就職状況】

(人)

区分	平成28年度生 平 30.3 卒	平成29年度生 平 31.3 卒	平成30年度生 令 2.3 卒
新 潟 県 外	4	3	2
新 潟 県 内	15	14	11
長 岡 市 内	4	5	5
そ の 他	1(未就職)	3(未就職)	1(未就職)
進 学	0	0	0
計	24	25	19

□ 調理専攻科

【入試状況】

(人)

区分	H30 年度生		H31 年度生		R2 年度生	
	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数
A O 入 試	11	11	19	19	7	7
特 待 生 入 試	1	1	1	1	0	0
指 定 校 推 薦	7	7	3	3	5	5
推 薦 入 試	2	2	0	0	0	0
一 般 入 試	1	1	3	3	1	1
社会人一般入試	0	0	0	0	0	0
計	22	22	26	26	13	13
その他 備考				1 (前年度 原級留置)		

計 27

【入学及び休・退学状況】

令 2.4 現在 (人)

区分 年度	1 学年					2 学年					年度末在籍数
	始期	原級留置	休学	退学(転科)	終期	進級	復学	休学	退学(転科)	終期	
H30 年度	22	1	0	1	20	15	0	0	0	15	35
H31 年度	27	0	0	4 (2)	23	20				20	43
R2 年度	13					23					

【就職状況】

(人)

区分	年度	平成 28 年度生 平 30.3 卒	平成 29 年度生 平 31.3 卒	平成 30 年度生 令 2.3 卒
新 潟 県 外		3	2	7
新 潟 県 内		6	5	6
長 岡 市 内		6	7	6
そ の 他		2(未就職)	1(未就職)	1 (雇止)
進 学		0	0	0
計		17	15	20

ハ 調理師科

【入試状況】

(人)

年度 区分	平成 30 年度生		平成 31 年度生		令和 2 年度生	
	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数
A O 入 試	15	15	4	4	4	4
特 待 生 入 試	0	0	0	0	0	0
指 定 校 推 薦	1	1	3	3	4	4
推 薦 入 試	1	1	1	1	1	1
自 己 推 薦 入 試	0	0	0	0		
一 般 入 試	2	1	3	3	0	0
社会人一般入試	5	5	2	2	5	5
計	24	23	13	13	14	14
その他 備考		2 転科 2		7 転科 6 前年度原級留置 1		5 転科 2 ハローワーク 3
		計 25		計 20		計 19

【入学及び休・退学状況】

令 2.4 現在(人)

区分 年度	1 学年					
	始期	原級留置	休学	退学	転科	終期
H30 年度	25	1	0	1	0	23
H31 年度	20	0	0	0	0	20
R2 年度	19					

【就職状況】

(人)

年度 区分	平成 29 年度生 平 30.3 卒	平成 30 年度生 平 31.3 卒	平成 31 年度 令 2.3 卒
新 潟 県 外	4	5	3
新 潟 県 内	5	7	7
長 岡 市 内	4	6	4
そ の 他	4(未就職)	5(未就職)	6(未就職)
進 学	0	0	0
計	17	23	20

2) 長岡美容専門学校

【美容師国家試験合格状況】

区分 年度	受験者 数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)	筆記 合格率	実技 合格率	全国平均 合格率
平成 29 年度	21	19	90.5%	95.2%	95.2%	85.8%
平成 30 年度	17	14	82.4%	94.1%	88.2%	86.2%
平成 31 年度	15	12	80.0%	93.3%	86.6%	85.1%

【入試状況】

(人)

区分 年度	H30 年度生		H31 年度生		R2 年度生	
	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数	受験者数	入学者数
AO 特待生入試	15	14	15	14	12	11
AO 準特待生入試	0	0	0	0	0	0
AO 一般入試	2	2	3	3	0	0
推薦入試	1(指定校)	1	3(指定校)	3	2(指定校)	2
一般入試	0	0	0	0	0	0
社会人入試	1	1	0	0	0	0
計	19	18	21	20	14	13

【入学及び休・退学状況】

令 2.4 現在 (人)

区分 年度	1 学年					2 学年					在籍総数
	始期	原級留置	休学	退学(転科)	終期	進級	復学	休学	退学(転科)	終期	
H30 年度	18	0	0	2	16	17	0	0	0	17	35
H31 年度	20	0	1	3	16	16	0	0	1	15	31
R2 年度	13					16					

【就職状況】

(人)

年度 区分	平成 28 年度生 平 30.3 卒	平成 29 年度生 平 31.3 卒	平成 30 年度生 令 2.3 卒
新 潟 県 外	8	4	6
新 潟 県 内	6	3	2
長 岡 市 内	6	10	5
そ の 他	1	0	2
進 学	0	0	0
計	21	17	15